

第 2 期 事 業 年 度  
(平成 1 7 年度)

## 決算報告書

国立大学法人 浜松医科大学

## 平成17年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,235	5,235	0	
施設整備費補助金	19	24	5	(注1)
施設整備資金貸付金償還時補助金	130	389	259	(注2)
補助金等収入	0	10	10	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	32	32	0	
自己収入	11,817	12,417	600	
授業料、入学料及び検定料収入	620	558	62	(注4)
附属病院収入	11,085	11,693	608	(注5)
雑収入	112	166	54	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	741	871	130	(注7)
長期借入金	282	275	7	(注8)
承継剰余金	106	158	52	(注9)
計	18,362	19,411	1,049	
支出				
業務費	14,804	14,716	88	(注10)
教育研究経費	4,803	4,364	439	
診療経費	10,001	10,352	351	
一般管理費	1,270	1,428	158	(注11)
施設整備費	333	331	2	(注12)
補助金等	0	10	10	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	741	835	94	(注14)
長期借入金償還金	1,084	1,084	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	130	389	259	(注15)
計	18,362	18,793	431	
収入 - 支出	0	618	618	

(注) 金額の端数処理は、百万円未満を四捨五入しております。

#### 予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、アスベスト対策事業が補正予算により措置されたため、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。

(注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算金額に比して決算金額が259百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、海外先進研究実践支援事業及び厚労省の病院整備補助金が措置されたため、予算金額に比して決算金額が10百万円多額となっています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため、予算額に比して決算金額が62百万円少額となっています。

(注5) 附属病院収入については、地域連携室の設置に伴う事前予約制度の確立による患者数の増、手術件数の増等により予算金額に比して決算金額が608百万円多額となっています。

(注6) 雑収入については、主として競争的資金の間接経費収入等により、予算金額に比して決算金額が54百万円多額となっています。

(注7) 受託研究の更なる獲得に努めたことにより、予算金額に比して130百万円決算金額が多額となっています。

(注8) 長期借入金については、競争契約により入札価格安価であったため、予算金額に比して7百万円決算金額が少額となっています。

(注9) 承継剰余金については、医療訴訟にかかる示談成立のため、予算金額に比して決算金額が52百万円多額となっています。

(注10) 業務費については、教育研究経費において経費の節減、病院収入増による診療経費の増のため、予算金額に比して決算金額が88百万円少額となっています。

(注11) 一般管理費については、退職手当の増、損害賠償金の増のため、予算金額に比して決算金額が158百万円多額となっています。

(注12) (注1)(注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっています。

(注13) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が10百万円多額となっています。

(注14) (注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が94百万円多額となっています。

(注15) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が259百万円多額となっています。